

## 八国山緑地 ふたつ池の底泥移植の提案

2017/2/4 NPO birth

## 1. 目的

- ・北山公園において、水草が豊かな水辺を創出する。
- ・八国山緑地ふたつ池の底泥に含まれる埋土種子を有効利用し、絶滅危惧種の保全に繋げる。

## 2. 八国山緑地の現状と課題

八国山緑地の湿地・水辺は、土砂が流入や植生繁茂により徐々に陸地化や乾燥化が進んでいる。水辺・湿地の生物への影響が予想されるほか、水生植物の埋土種子が長期間にわたって発芽していないと考えられる。近年の研究により、種子の寿命は40年程度であることがわかってきているため、これが尽きる前に発芽を促して種子の若返りを図りたい状況である。

こうしたなか、平成27年度より八国山緑地において東京都が主導する「多様な生物が生息する都立公園づくり事業」が始まっており、2017年1～3月にかけてふたつ池下池の浚渫が行われている。 <sup>↑</sup> 水深30cm



八国山ふたつ池下池



ふたつ池下池の浚渫

### 3. 北山公園における保全対策案

#### ○底泥の移植による水草豊かな水辺の創出

二つ池は江戸時代から存在していた水域であり、底泥の中には希少な水草類の埋土種子が残存している可能性がある。これをしょうちゃん池、菖蒲田内の池などに移植することで水草の発芽をねらう。水草が豊かになれば、トンボ類、水生昆虫類、魚類、水鳥などの動物の多様性も高まることが期待できる。

#### ○底泥をプランターに入れ、発芽実験を行う

前述の通り、泥の中から希少な植物が発芽する可能性があるので、プランターで育成実験を行う。このプランターは、北山公園の掲示板付近や市役所等に設置することによって市民への普及啓発に用いることも出来る。

#### 水草の多い池のイメージ



国営讃岐まんのう公園 逆様池



神戸市立森林植物園 長谷池



埼玉県さいたま市 赤坂沼



十勝ヒルズ トンボ池